

には、リンクがあります。は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

外部評価の結果

事業所名 グループホーム **ももたろう**

日付 平成16年7月30日

評価機関名 有限会社
アウルメディカルサービス

評価調査員 薬剤師・介護支援専門員

痴呆介護経験8年、障害者、老人介護支援

自主評価結果を見る

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)

講評 全体を通して(特に良いと思われる点など)
大きく開かれた玄関ドア。外周りには広い農園がある。天気の良い日には沢山の布団が干される。さりげない家庭的な生活が営まれている。

田園の中の静かな住宅地で、ホームの周辺は散歩するのにも適している。お茶を飲み喫茶店へ出かけたり外出の楽しみも大事にされている。
玄関前のベンチでは職員と仲良く座って、手作りの歌詞カードを見ながら、若かったころ歌った懐かしい曲を歌っている。入居者の顔はとても楽しそうだ。

入居者は、自分のやりたい事をする。職員はそのお手伝いをする。自由で、個人の思いを大切に生活をめざす。
職員は、せかせかしない・バタバタしない、を实践。入居者とのコミュニケーションは落ち着いていて家庭的で明るい。
食事は自分で食べてもらいたい。との思いから、身体機能に合わせた調理を実施。一緒に食事をしながら入居者のペースに合わせてサポート、見守りが行われている。
運営理念の実現に向けて、管理者、職員ともに息をあわせて努力され、まじめに取り組まれているホームである。

改善の余地があると思われる点
特になし

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
<p>記述項目 グループホームとしてめざしているものは何か 入居者は、自分のやりたい事をする。職員はそのお手伝いをする。自由で、個人の思いを大切に生活をめざす。ゆったりとした時間がながれる空間作りをこころがけ、一人ひとりの生きてきた人生、生活を大事に考えながら入居者と職員がひとつの家族になれるよう努力されている。</p>			

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
<p>記述項目 入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か せかせかしない、バタバタしない。を基本に、安心できる生活の場づくりに、職員の笑顔、何気ない親切な言葉かけが実践されている。 ユニット間の移動は自由で開放的で自由な空間を有している。どこで過ごしても食事、おやつなどのサービスが同じように受けられる体制を作っている。</p>			

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物物の支援		
23	痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
<p>記述項目 一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か 自分でできる事は、自分でしてもらっている。昼食、夕食の味付け、盛り付けは入居者が手伝っている。 入居者の過去の経験を大切にされている。</p>			

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
<p>記述項目 サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。 このホームで生活することで、生きがいを感じ、残された日々過ごしてもらえように入居者を中心に職員全員が毎日努力をされている。そのために、入居者とのコミュニケーションを大切に、職員間の話し合いを重視されている。</p>			